

神奈川県三浦市三崎漁港 (二町谷地区)

PR資料

三崎漁港（二町谷地区）概要

【地域の概要】

- 神奈川県南東部の三浦市、三崎半島の最南端に位置する三崎漁港は、西側は相模湾、東側は東京湾、南側は太平洋に面している。
- 全国有数の遠洋まぐろ漁業の基地である三崎漁港（特定第3種漁港）では、漁業や加工業等水産に係る活動の他、二町谷地区においては伝統的な鰺突漁などが営まれているが、近年では漁獲・水揚量の減少し、魚価向上や漁業者の所得確保が望まれている。
- 三浦市の人口は令和6年5月末で39,745人（市統計資料）
- 三浦市の産業分類別就業者数・構成比（令和2年国勢調査）は、第1次産業2,094人・10.8%（漁業261人・1.3%）、第2次産業3,014人・15.5%、第3次産業13,547人・69.9%である。



【漁業の概要】

- 三浦市には、特定第3種の三崎漁港のほかに、第1種、第2種の漁港が5漁港立地（北下浦漁港は横須賀市と三浦市にまたがる）しており、漁業生産の拠点となっている。
- 主な漁業種類は、遠洋漁業のまぐろはえ縄（メバチマグロ）、沿岸漁業の大型定置網（イワシ類、アジ類、サバ類、ブリ類）、はえ縄・釣り（キンメダイ、サバ、イカ、ムツ）、刺網（イセエビ・ヒラメ・磯根）、鰺突（サザエ・アワビ・ウニ、ナマコ・天然わかめ）など
- 二町谷に近接する三崎漁港新港には、三浦市三崎水産物地方卸売市場（沿岸物を取り扱う市場と冷凍マグロを専門に取り扱う「三浦市低温卸売市場」）、超低温冷蔵庫、三崎まぐろ加工センター、みうら漁業協同組合、うらりマルシェなどの漁港施設や水産関連企業・施設が集積している。
- 令和2年の三崎地区の漁協正組合員は163人、准組合員410人である（令和2年度港勢調査）。

【観光の概要】

- 三浦市は、海岸線を有する自然環境、富士山の眺望等の景観、朝市、三崎フィッシャリーナ・ウォーフ「うらり」、市内の農水産物の直売所等多くの観光資源を有する。
- 三浦市には年間400万人以上の観光客（令和4年）が訪れている。うち、190万人以上の観光客が三崎地区を訪れている。
- うらりマルシェの建替え・新商業施設の開発（新海業PJ）、二町谷埋立地における富裕層向けリゾート開発（海業PJ）などの取組が進行中。
- 現在、二町谷地区においては、漁業活動と観光業の共存に向けた環境整備のため、漁業者・漁協を中心に漁港施設・海面の多目的利用に向けたルールづくりが進められている。

- 三浦市の所得循環構造においては、生産・販売は、全体で972億円の収入があり、そのうち労働生産性は650.7万円/人と全国平均と比較すると低くなっている。
- 収入は全体で1,485億円あり、地域住民所得は1人あたり353.1万円と全国平均より低い結果となっている。支出は、全体で972億円であり、そのうち三浦市内での消費は158億円となり所得がある一方で、投資、経常収支、エネルギー代金は三浦市以外に多くの支出が発生していることがわかる。

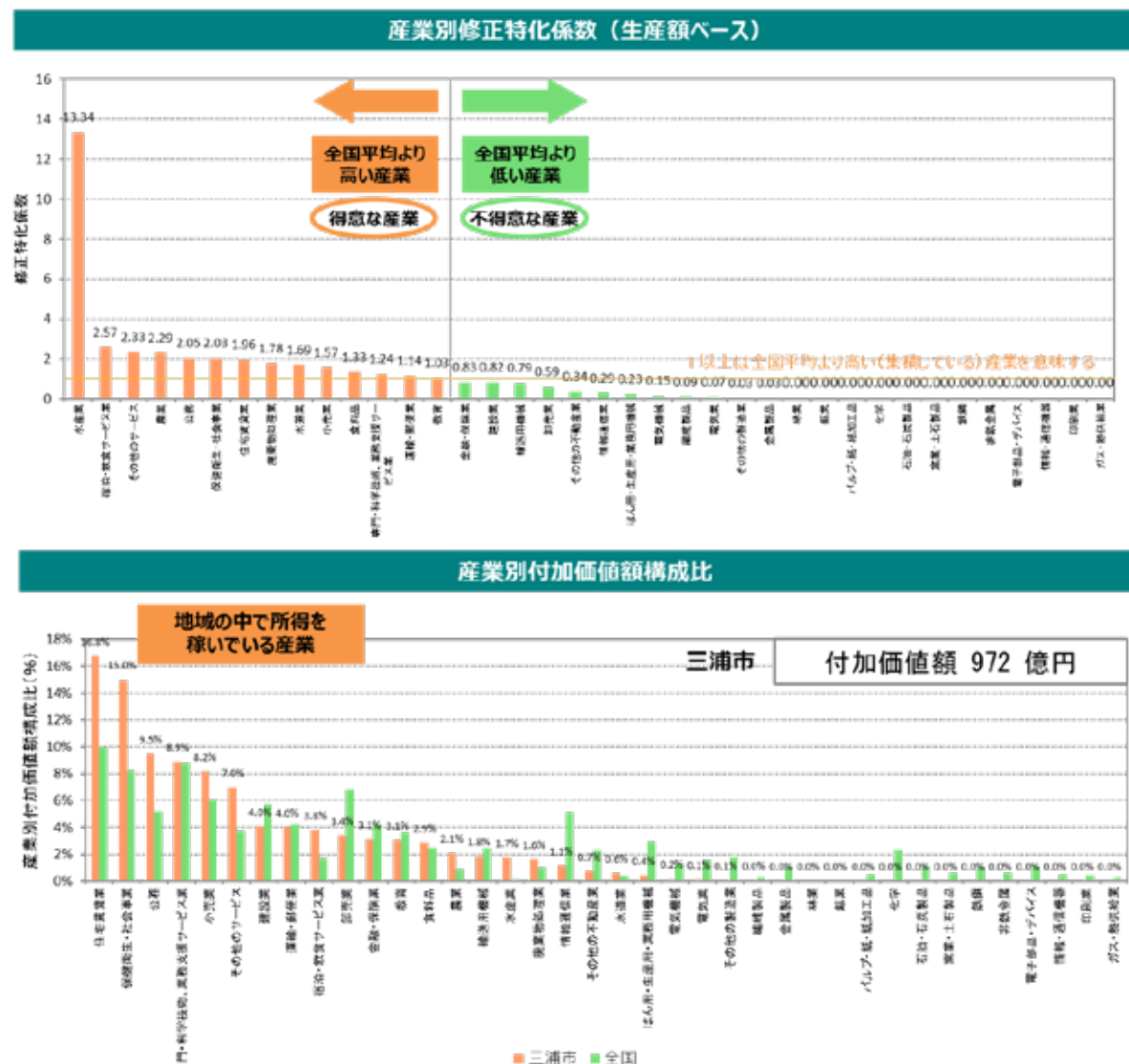


注1) 地域住民所得は、夜間人口1人当たりの所得(=雇用者所得+その他所得)を意味する。

注2) エネルギー代金の収支は経常収支の内数であり、原材料利用や本社・営業所等の活動(=非エネルギー)は含まれない。※Ver5.0までは含まれる

[地域経済]

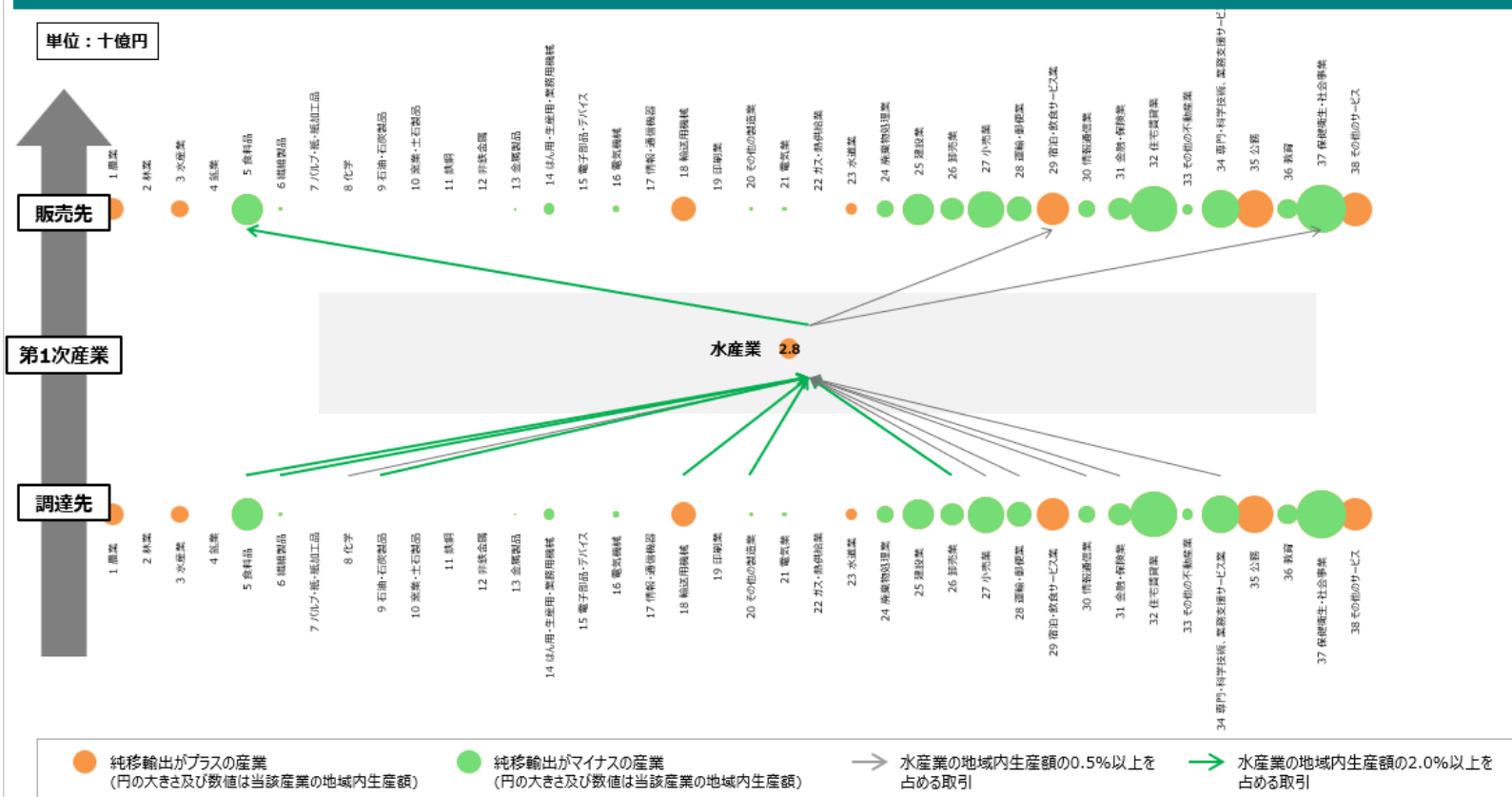
- 三崎漁港（二町谷地区）が属する三浦市の産業は、水産業、宿泊・飲食サービス業等が比較優位性が高い。特に水産業は全国平均に対して13.34と非常に高い係数を示している。



【地域経済】

- 三浦市の水産業は生産額28億円で純移輸出はプラスとなっている。調達先は食料品、輸送用機械、小売業等との取引が比較的強い。販売先は食料品、宿泊・飲食サービス業、保健衛生・社会事業との取引が比較的強い。

「水産業」に着目した主要な取引構造



■ 地区の課題と取り組む海業の概要

賑わいづくり・拠点づくり

ルールづくり

現状と課題等

- 地区の賑わい・活力不足**
 - 漁業者の減少・高齢化
 - ・漁業者だけの活動は困難
- 漁港施設の多目的利用**
 - 二町谷地区は「世界に向けた海業や日本文化の発信を担うゾーン」に位置づけている
 - ・富裕層をターゲットとしたリゾート施設を開発予定
 - ・浮棧橋を整備（ゲストバス機能強化）
- 漁業・水産業と観光業の共存による活性化が求められている

海業で目指す姿

- 漁港に人が集まり水産物の消費が拡大し、漁業者の所得向上につながっている
 - 漁業者と外部団体が連携し、賑わいが創出している
 - 取組が定着し地域の魅力が増大している
- 三浦市における水産資源を活用した拠点となっている
 - 漁業・水産業と観光業の共存により、地域消費及び漁業者の所得が向上している
 - 交流人口が拡大している

海業振興の取組イメージ

**賑わいの創出
漁業者と市民の交流**
・外部団体と連携しマルシェで水産物を販売する
・開催頻度を増やし常設化を探る

漁業と観光業をつなぐ拠点整備
・リゾート施設の開発が漁業者にとってもメリットとなる仕組みづくりに取り組む

**漁港利用の適正化
情報発信の強化**
・関係者による協議会を立ち上げルールづくりと情報発信に取り組む

- 漁港利用のルールが必要**
 - プレジャーボートの受入や漁業体験コンテンツ等の提供が漁業生産活動の支障となる場面もある
 - 浮棧橋の管理運営体制の構築、海面利用のルールづくりが求められている

- 海のルールブック運用により海面が多目的に利用されている
- 漁港・海面利用のルールが広く発信され利用者に浸透している
- 海のルールづくりが三崎漁港全体に広がっている

海業の事業計画骨子【神奈川県三浦市 三崎漁港（二町谷地区）】

1．現状と課題

【地域・水産業の現状と課題】

- 神奈川県南東部の三浦市、三崎半島の最南端に位置する三崎漁港は、西側は相模湾、東側は東京湾、南側は太平洋に面している。
- 全国有数の遠洋まぐろ漁業の基地である三崎漁港（特定第3種漁港）では、漁業や加工業等水産に係る活動の他、二町谷地区においては伝統的な親突漁などが営まれているが、近年では漁獲・水揚量の減少し、魚価向上や漁業者の所得確保が望まれている。

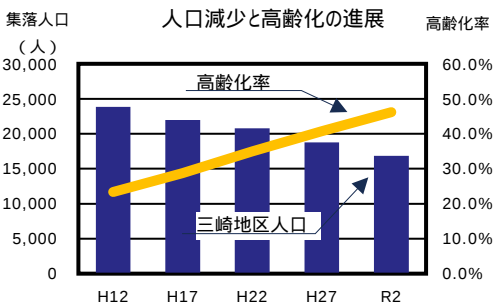


【海業の現状と課題】

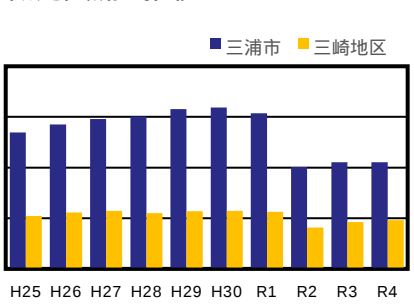
- 三浦市では、「海業」をキーワードに「三崎漁港グランドデザイン」を策定し、公民連携プロジェクトによる三崎漁港の魅力向上に取り組んでいる。
- 二町谷地区においては、平成28年から「海業プロジェクト」を始動し、二町谷埋立地を事業用地とした富裕層向けリゾート施設を2033年を目途に整備予定である。現在、浮桟橋2か所の設置が完了し、プレジャーボートの受入（浮桟橋の本格共用）に向けた準備を進めている。
- 加えて、令和6年から「新海業プロジェクト」を始動し、二町谷地区に隣接する漁港施設用地を対象に、うりマルシェの改修を含めた、新商業施設の整備、水産業の拠点強化等が進められている。
- 今後、二町谷地区においても訪問客が増えることが予想されており、海業体験プロジェクト開発、海面利用のルール作りや浮桟橋の管理運営体制の構築等について、漁協・漁業者と市を中心に検討を進めている。



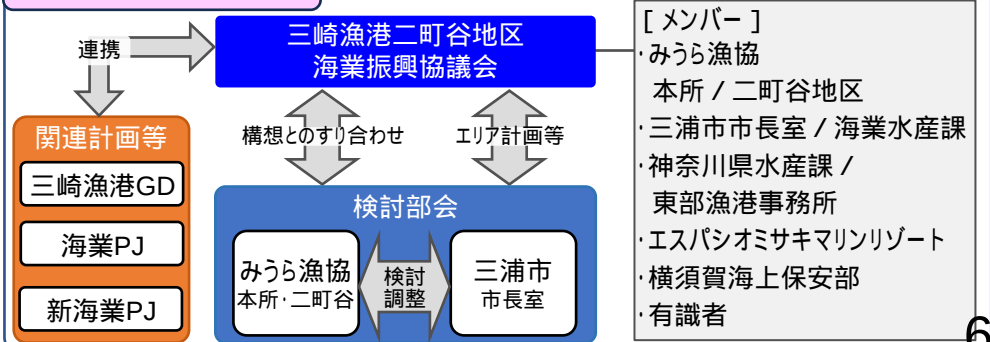
■ 三崎地区の人口と高齢化率の推移



■ 観光交流の推移



2．検討体制



海業の事業計画骨子【神奈川県三浦市 三崎漁港（二町谷地区）】

3．海業の方針

二町谷地区は、三崎漁港における「**世界に向けた海業や日本文化の発信を担うゾーン**」と位置づけ、リゾート施設の整備と合わせて三浦市の伝統に即したプログラムの開発・提供ことで**賑わいを創出し**、水産物の販路確保・消費拡大による**魚価向上**、**漁業者の所得確保**や漁業・魚食文化の継承と啓発を図るとともに、新規就業者（漁業・水産業）の獲得に繋げる 三崎漁港GDより

- 【取組】**
- 二町谷埋立地を対象とした富裕層向けリゾート施設の整備による二町谷地区の**賑わいづくり・拠点づくり**
 - ◇ ゲストバス機能の強化・浮桟橋の管理運営、海業コンテンツの開発・提供、地元水産物の提供施設の整備
 - 漁業と観光業の共存のため、海面の適切かつ多目的な利用に向けた**ルールづくり**

4．海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果

- 富裕層向けリゾート施設の整備（市・民間企業等）**
- 【期待される効果】**
- 賑わいの創出
 - 域内消費の拡大
 - 滞在時間の延長
 - 地域の雇用の創出
 - 観光地として魅力の増大
 - 地域のリブランディング（富裕層をターゲットとしたブランディング）

- ゲストバス機能強化・浮桟橋の管理運営（漁協・民間企業等）**
- 【期待される効果】**
- 海の玄関口機能の強化
 - 交流人口の拡大
 - 漁業者の所得向上
 - 賑わいの創出

- 海業体験プログラムの開発・提供（漁協・民間企業等）**
- 利用水面（漁港水域内外）やスキーム等は今後検討
- 【期待される効果】**
- 漁業者の所得向上
 - 漁業・水産業への理解増進
 - 域内消費の拡大
 - 漁業・魚食文化の継承と啓発
 - 観光コンテンツの拡充
 - 滞在時間の延長

- 地元水産物の提供施設（BBQ等）の整備（漁協・民間企業等）**
- 運営は民間企業を想定、位置やスキーム等は今後の検討
- 【期待される効果】**
- 域内での水産物消費拡大
 - 漁業所得の向上
 - 地元水産物のブランド化
 - 賑わいの創出

- 海のルールづくり（県・市・民間企業・海上保安部等）**
- 【期待される効果】**
- 漁業活動の保護
 - 海面・漁港施設の多目的利用
 - 漁業と観光業の共存
 - 交流人口の拡大



事業計画書について

■ 事業計画書 記載項目

策定者		
協議会メンバー		
対象地域と対象漁港		
地区の概要	地区の現状	地区の概要、産業構造と人口の推移、漁業の概要、観光の概要 等
	上位・関連計画	上位・関連計画との関係、位置づけ
	地域の課題	上記を踏まえて地域の課題を整理
海業の概要	海業の目的	目的（ミッション）、地区が目指す将来像
	実施する事業	実施する事業、事業主体、実施時期等
	地域資源や魅力の活用	活用する地域資源や魅力、事業での活用方針、域内調達
	漁港ストックの活用方針	漁港ストック、およびその活用方針
	事業の効果	地元水産業の発展に寄与する内容、地域に与える効果
実施する各事業の ビジネスモデル	ビジネスモデル	何を、誰に、どのように提供するか、価格帯、見込客数等
各事業の実施項目と実施主体、活用したい支援事業等		
体制、人員計画、関係者の役割分担		
実施に向けた手続き・調整事項	手続き	各事業の実施に向けた具体的な手続き
	調整事項	今後必要となる調整事項の整理
財務計画	資金の検討、収益の検討	
実施にむけたタイムスケジュール案（これまでのまとめ）		

■ 事業計画の概要

富裕層向けリゾート施設

- 事業の概要：
 - ・二町谷埋立地を事業用地とした富裕層向けリゾート施設の開発
- 事業主体：
 - ・三浦市・民間事業者
- 実施時期
 - ・2033年開業を目途にリゾート施設を整備予定
- サービスの内容
 - ・高価格帯の宿泊施設等
- ターゲット、見込客数、事業規模、販売戦略
 - ・ターゲット：国内外の富裕層
 - ・見込客数：－
 - ・事業規模：－
 - ・販売戦略：民間の創意工夫等の活用（公民連携）



浮桟橋の管理運営

- 事業の概要：
 - ・浮桟橋を利用したプレジャーボートの受入
- 事業主体：
 - ・漁協・民間企業・県・市
- 実施時期
 - ・令和7年度に浮桟橋の本格供用を開始予定
- 取扱商品：
 - ・富裕層向けリゾート施設の付帯施設
 - ・最大300フィートftのプレジャーボートを係留可能
- サービスの内容：
 - ・プレジャーボートの係留施設
 - ・プレジャーボート客へのサービス提供施設（トレーラーハウスを活用した休憩施設、飲食提供施設等）
- ターゲット、見込客数、販売戦略
 - ・ターゲット：リゾート施設利用者
 - ・見込客数：－
 - ・販売戦略：民間事業者による公の施設としての浮桟橋の設置。指定管理による管理運營業務の長期委託。



■ 事業計画の概要

海業体験プログラム

■ 事業の概要：

- ・漁村文化および漁船を利用した海業プログラム（漁業体験等）を造成、販売

■ 事業主体：

- ・漁協・民間事業者

■ 実施時期

- ・R7年度に資源調査および体験プログラムの開発を予定

■ サービスの内容

- ・漁師聞き書き、ワカメ養殖体験、ノリスギ体験、ところ天づくり体験、ウニむき体験、磯の観察会などの体験プログラム。価格は3,000円／人をベースに、富裕層をターゲットにする場合はより高単価な体験プログラムを造成・販売。
- ・刺し網体験、みづき見学、観光船などの体験プログラム。価格は10,000円／人をベースに、富裕層をターゲットにする場合はより高単価な体験プログラムを造成・販売。

■ ターゲット、見込客数、事業規模、販売戦略

- ・ターゲット：リゾート施設利用者（国内外の富裕層）、日帰り観光客
- ・見込客数（仮）：－
- ・事業規模（仮）：－
- ・販売戦略：民間事業者（宿泊事業者等）が予約サービスやPR・集客・送客を担う

地元水産物の提供施設（BBQ等）の整備

■ 事業の概要：

- ・富裕層向けリゾート施設内または二町谷地区に地元水産物の提供施設（飲食、物販）を整備

■ 事業主体：

- ・漁協・民間企業

■ 実施時期

- ・リゾート施設の開発進捗に合わせて実施予定

■ 取扱商品、サービス内容：

- ・主に三崎漁港及びその他市内漁港で水揚げされる水産物を利用したBBQ施設等。価格は3,000円／人。

■ ターゲット、取扱商品、見込客数、事業規模、販売戦略

- ・ターゲット：リゾート施設利用者、観光客
- ・取扱商品：主に地元水産物（沿岸物）
- ・見込客数（仮）：－
- ・事業規模（仮）：－
- ・販売戦略：民間事業者（宿泊事業者等）が予約サービスやPR・集客・送客を担う

■ 事業計画の概要

海のルールづくり

■ 事業内容

・浮桟橋へのプレジャーボートの受け入れや体験プログラムの提供による海面利用の増加に伴い発生が予想されるトラブルを未然に防止し、漁業と観光業の共存に向けたルールづくりを行う。漁協・漁業者を中心に関係者と協議・連携し海のルールブックを作成・運用するとともに、浮桟橋の利用者・周辺マリナー等への周知を行う。

■ 实施主体

漁協・県・市・民間企業・海上保安部等

二重谷地区の概要

種別	面積	人口	特徴
自治体	10市、1町、1村	約10万人	人口密度が低い
産業	農業、林業、工業	約10万人	農業が中心
交通	道路、鉄道	約10万人	交通網が整備されている

二重谷地区は、人口密度が低く、農業が中心の地域です。また、交通網が整備されており、観光資源も豊富です。

二重谷地区の概要

二重谷地区は、人口密度が低く、農業が中心の地域です。また、交通網が整備されており、観光資源も豊富です。

二重谷地区の概要

二重谷地区は、人口密度が低く、農業が中心の地域です。また、交通網が整備されており、観光資源も豊富です。

二重谷地区の概要

二重谷地区は、人口密度が低く、農業が中心の地域です。また、交通網が整備されており、観光資源も豊富です。

ご利用のみなさまへ

二重谷地区は、人口密度が低く、農業が中心の地域です。また、交通網が整備されており、観光資源も豊富です。

二重谷地区の概要

二重谷地区は、人口密度が低く、農業が中心の地域です。また、交通網が整備されており、観光資源も豊富です。

二重谷地区の概要

二重谷地区は、人口密度が低く、農業が中心の地域です。また、交通網が整備されており、観光資源も豊富です。

二重谷地区の概要

二重谷地区は、人口密度が低く、農業が中心の地域です。また、交通網が整備されており、観光資源も豊富です。

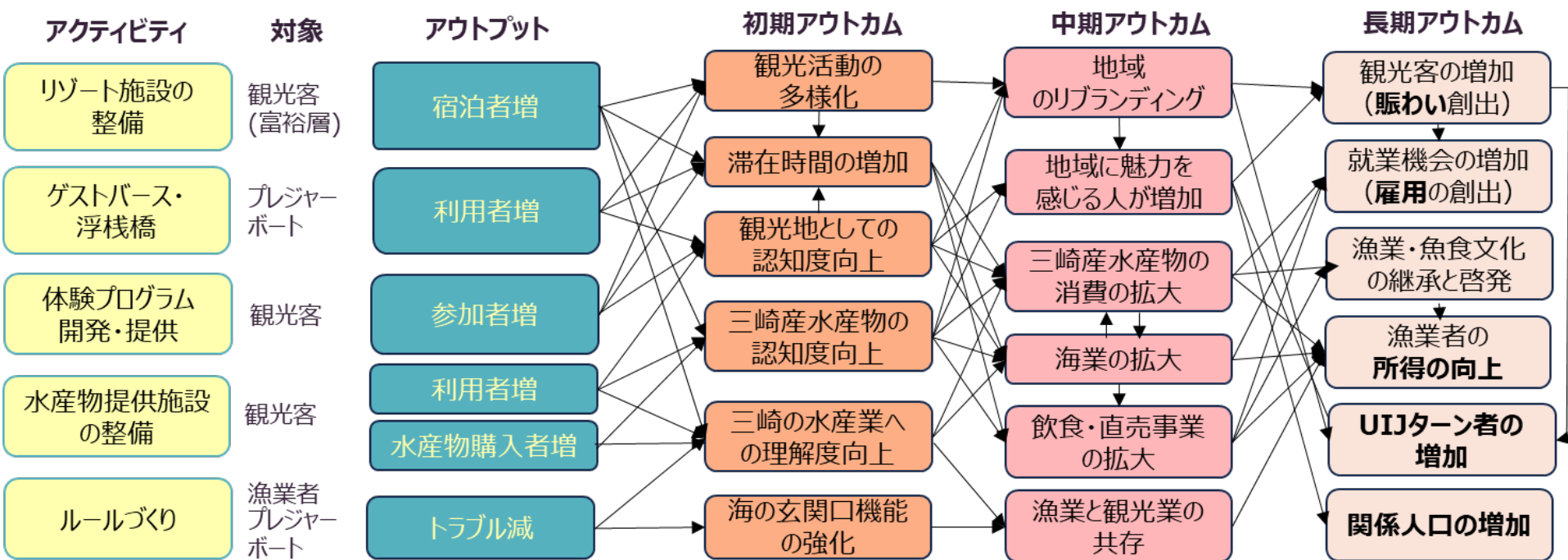
三町谷地区

三町谷地区は、人口密度が低く、農業が中心の地域です。また、交通網が整備されており、観光資源も豊富です。

三町谷地区 三町谷地区 三町谷地区
TEL: 046-821-1111 FAX: 046-821-1111
FAX: 046-821-1111

■ 事業の効果（ロジックモデル）

事業の効果（ロジックモデル）



■ 海業の関係主体間の経済関係

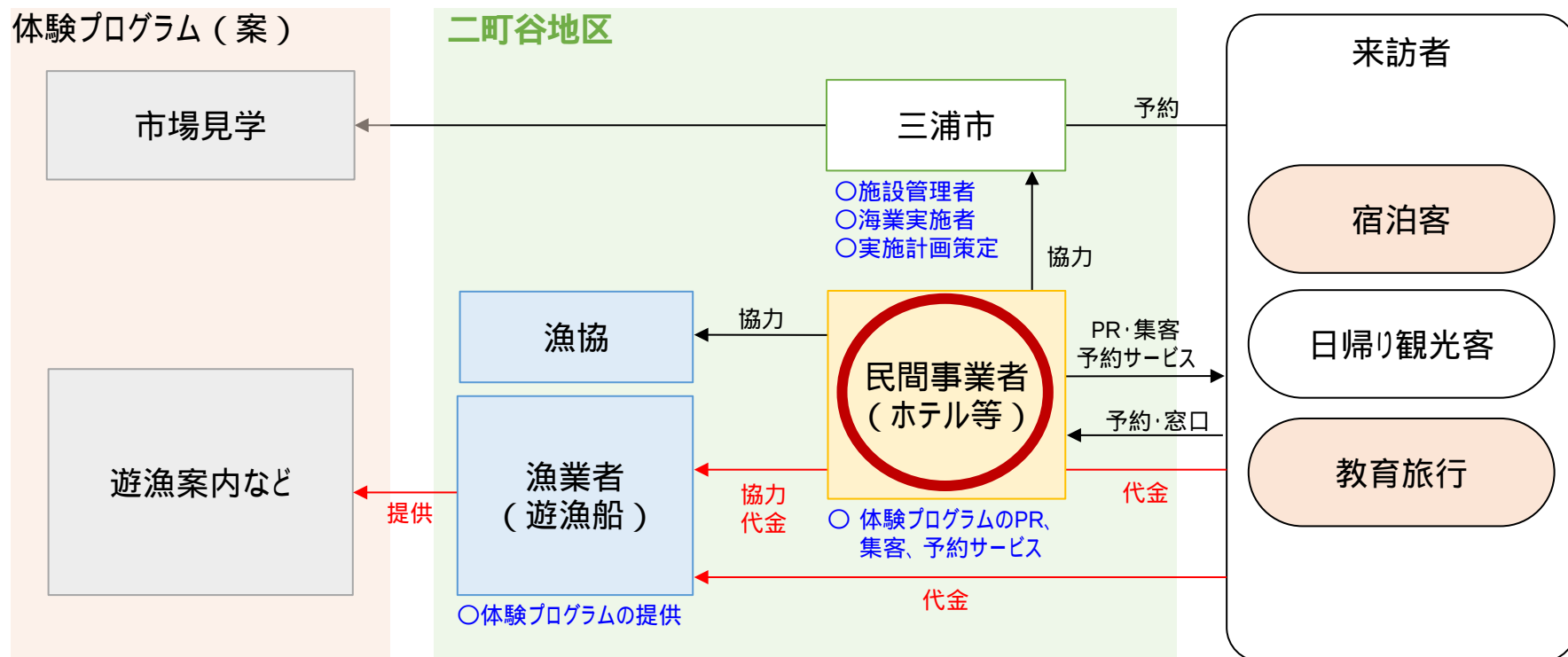
R6時点での想定

二町谷地区の可能性 体験プログラム（既存プログラムの拡張）

- 生産者、組合、民間事業者（ホテル）の連携によるプログラム実施体制が想定される。既存プログラムについてもPR・集客・送客などで新しい連携が可能である。

【既存の取組の展開】
魚市場見学・遊漁案内など

体験プログラム（案）



■ 各事業の経済規模

R6時点での想定

二町谷地区の可能性 体験プログラム（新たなプログラムの連携）

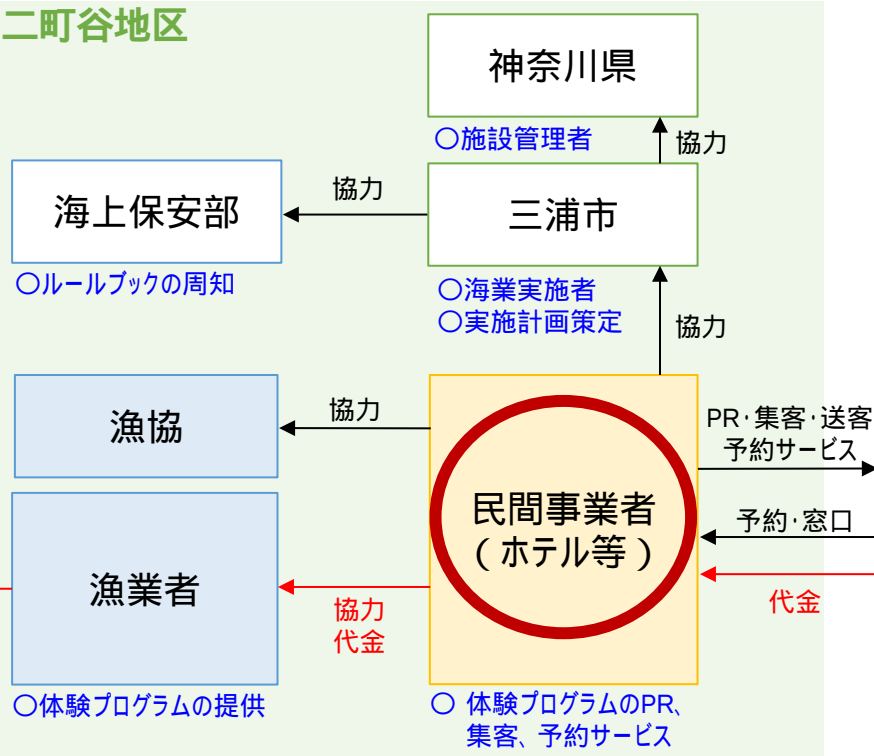
- 生産者、組合、民間事業者の連携によるプログラム実施体制が想定される。新たに取り組むプログラムではPR・集客・送客などで下記の様な新しい連携が想定される。

【新たな取組の展開（案）】
漁業体験（見学、聞き語り、加工体験など）

体験プログラム（案）

- 採捕・養殖
 - ・ 漁師聞き書き
 - ・ 1日漁師
 - ・ 刺し網体験
 - ・ みづき見学
 - ・ ワカメ養殖体験
 - ・ ノリすき体験
- 加工・飲食
 - ・ ところ天つくり体験
 - ・ ウニむき体験
 - ・ 朝市
 - ・ 海鮮BBQ
- 観察
 - ・ 磯の観察会

二町谷地区



海業計画 スケジュール（案）

事業名	実施主体	実現までの実施事項			実施時期									
		実施項目	概要	活用したい支援事業	短期					中期				
					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
富裕層向けリゾート施設の整備	民間事業者 三浦市	リゾート開発	・富裕層をターゲットとしたリゾート施設の開発	-										開発予定
		～の事業検討	・漁業者・漁協との調整 ・漁業者・漁協が利益を享受できる仕組みづくりの検討	-	検討									
浮桟橋の管理運営（プレジャーボートの受入）	民間事業者 三浦市	管理・運営体制の構築	・ゲストバース機能の強化	-	検討									
海業体験コンテンツの開発・提供	民間事業者 漁業者 三浦市	体験プログラムの開発（漁村文化の体験、漁船を利用した体験）	・実施場所の選定 ・事業スキーム、運営体制等の検討 ・試行、実証実験 ・ニーズ調査	-	漁業者との意向を確認しつつ検討									
地元水産物の提供施設（BBQ等）の整備	民間事業者 漁業者 三浦市	事業スキーム等の検討	・資源調査（水産物） ・実施場所の選定 ・事業スキーム、運営体制等の検討 ・試行、実証実験 ・ニーズ調査	-	漁業者との意向を確認しつつ検討									
海のルールづくり	民間企業 漁業者 三浦市 海上保安庁	ルールブックの作成	・ルールブックの作成 ・効果的な周知方法の検討	-	ルールブック作成									